

桃山高校周辺におけるカラスの音声コミュニケーション

資料〈1〉

京都府立桃山高等学校 鳥班

氏名 神月桃花 小野温香 内山香音

【キーワード】カラス コミュニケーション 共生

1. 概要

以前から桃山高校には多くのカラスが集まってくる。その中で音声をきっかけに一斉移動しているところを見た。以前の研究でカラスが桃山高校に集まる原因はねぐらへの警戒によるものであると分かった。

今回の研究ではさらに、ねぐら周辺のカラスの行動、コミュニケーションを分析し、カラスの生態を探る。

2. 目的

ねぐら周辺のカラスの会話の解明をすることにより、カラスによるごみ問題や糞害の対策につなげたいと考えている。最終的には、本校を始めとしてヒトとカラスなどの鳥類との共生にもつなげていきたいと考えている。

3 仮説

カラス間でのコミュニケーションの主な内容は他の個体やヒトへの警戒ではないかと考える。

4. 研究方法

スマホ、360度カメラ、録音機で鳴き声を記録する。そしてカラスの個体数、飛んできた方向、どのような行動・発声をしたかをパソコンのソフトやスマホを使って分析する。

5. 結果

これまでの研究で一羽のカラスが鳴いた後に一斉にカラスが飛び立つ様子を観察できた。このコミュニケーションでは、「行くぞ!」「わかった!」などの会話がされていると考える。この研究は現在進行中である。

6. 考察

カラス間で音声によるコミュニケーションが行われていると考える。また、行動によるコミュニケーションもされている。

桃山高校のカラスだけでなく、一羽のカラスが鳴いた後に一斉に他のカラスが飛び立つという現象が起こった際には、そのカラスの周辺にねぐらがあるのではないかと考える。またそこでは、糞害も発生していると考察をたてる。

7. 今後の課題

第一に、カラス語のデータを増やす。音声以外のアイコンタクトなどコミュニケーションをさがしたい。

8. 参考文献

カラスをだます 塚原直樹 (2021年2月)
眠れなくなるほど面白い 図解カラスの話 松原始 (2020年12月)
カラス学のすすめ 杉田昭栄 (2018年6月)
もっとディープに!カラス学 体と心の不思議にせまる 杉田昭栄 (2021年6月)

